

地方施策の強化に向けた文部科学省の取組



平成30年11月6日

柴山文部科学大臣 提出資料



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,

SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

地方施策の強化に向けた取組① ～地方大学の振興～

- **地方創生を担う人材の育成や大学を核とした地域産業の活性化の観点から、地方大学の振興を図ることが重要**であり、基盤経費や奨学金、補助金等のあらゆる枠組みの財政支援を総動員して、地域の発展に貢献する大学等を支援する。

国立大学法人運営費交付金等

- ◆ 「3つの重点支援の枠組み」により、地域のニーズに応える人材育成・研究の推進などの各大学の強み・特色をいかした機能強化構想について重点支援

宇都宮大学の取組



- ✓ **地域デザイン科学部を設置。**
- ✓ 地域対応力を養う実践的教育プログラムを実施。
- ✓ 具体的には、地域の課題解決に向けて実践的に行動できる能力である地域対応力を養うため、**文理の専門領域を超えた学部共通の教育プログラム(ディスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーション)**の実施。

地(知)の拠点大学による地方創生推進事業

- ◆ 若年層の東京一極集中を解消するため、大学・地方公共団体・企業等の各種機関が協働し、地域が求める人材を養成するための教育改革とともに、学生にとって魅力ある就職先を創出・開拓を実行。



富山大学の取組

- ✓ 「**地域課題解決プラットフォーム**」を形成。
- ✓ 「**未来の地域リーダー**」を育成するため、**教育カリキュラム改革**や、**学生の地元定着推進のための取組**を実施。



私立大学等改革総合支援事業

- ◆ 地域の経済・社会、雇用、文化の発展に寄与する取組や、大学間、自治体・産業界等との連携を進めるためのプラットフォーム形成を通じた大学改革の推進を支援

石巻専修大学の取組

- ✓ **被災地復興**に向けたボランティア活動の拠点。
- ✓ 被災の記憶をとどめるためのアーカイブ化などの防災と復興に関する事業。
- ✓ 地域の小中高校と連携した復興教育を展開するなど「**復興共生プロジェクト**」を実施。



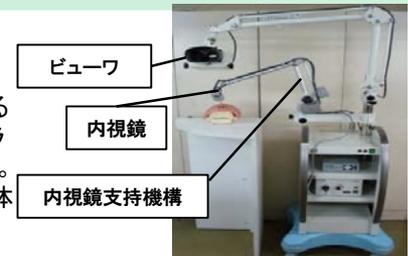
＜石巻専修大学の3Dプリンタで作成した震災前の石巻沿岸の模型＞

地域イノベーション・エコシステム形成プログラム

- ◆ 特徴ある研究資源を有する地域の大学において、事業化経験を持つ人材を中心とした事業プロデュースチームを創設。専門機関を活用し、市場・特許分析を踏まえた事業計画を策定し、大学シーズ等の事業化を目指す。

浜松地域の取組

- ✓ 立体視でき、高画質かつ人の眼が捉える色を忠実に再現する製品版内視鏡カメラシステムの改良型が2016年度末に完成。
- ✓ 2018年度中のベンチャー起業に向けた体制整備等が進捗中。



地方施策の強化に向けた取組② ～高等学校の機能強化～

- 高等学校は、地域人材の育成において極めて重要な役割を担っており、高等学校段階で地域の産業や文化等への理解を深めることが、その後の地元定着やUターン等にも資する。
- 高等学校が市町村、大学、産業界等と協働し、地域課題解決等を通じた探究的な学びを実現する取組を推進する。

高等学校

- ・地域との協働による活動を学校の活動として明確化
- ・学内における実施体制を構築

- ✓地域における活動を通じた探究的な学びの実現（新たな学習指導要領への対応）
- ✓学校の中だけではできない多様な社会体験

都道府県教育委員会等

- ・高等学校の取組を支援、伴走
- ・教職員の研修等を通して知見を他の高校へ普及

探究的な
学びを推進

高校生×地域課題

高校生の興味・
関心を喚起



コンソーシアム

- ・将来の地域ビジョン・求める人材像の共有や協働プログラムの開発
- ・学校と地域とをつなぐコーディネーターを指定

- ✓高校生のうちに地元地域を知ることにより、地元への定着やUターンが促進される
- ✓地域の活動に高校生が参画することにより、地域活力の向上へ貢献

高校生と地域課題のマッチングを効果的に行うための仕組みを構築

KPIを設定
PDCAサイクルを推進

コーディネーター



- ・非営利法人職員
- ・公民館主事
- ・大学教員
- ・PTA代表
- ・地元産業界代表 等

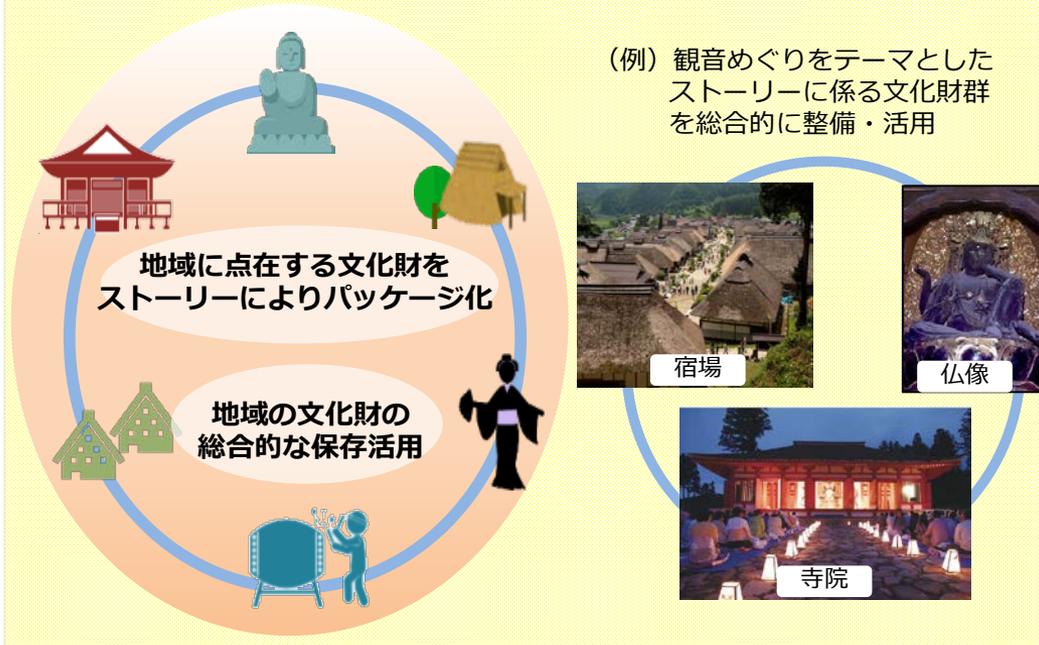
- ・高等学校と市町村等との協働体制の構築
- ・学校や地域とのマッチングを実施

地方施策の強化に向けた取組③ ～文化資源を活かしたまちづくり・観光振興～

- 日本遺産の認定や改正文化財保護法に基づく地域の文化財の総合的な保存・活用を促進することにより、文化財を活かした魅力ある地域づくりを推進するとともに、文化財を核とした観光拠点の整備を図る。
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、日本文化の魅力を発信する文化プログラムを全国津々浦々で展開し、訪日外国人の地方への誘客・インバウンドの拡充を図るとともに、地域が誇る文化資源を活用したまちづくりを支援する。

文化資源の活用による地方活性化

文化財を活かした魅力ある地域づくり



地域の歴史的ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある文化財群を総合的に保存・活用し、国内外に戦略的に発信することで、地域の活性化を図る

地域の文化芸術資源を活用した取組の充実

芸術祭などを中核とし、文化芸術と観光、まちづくり、食、国際交流、福祉、教育、産業その他関連分野と有機的に連携した、国際発信力のある拠点形成を支援。



新潟県十日町市
大地の芸術祭越後妻有
アートトリエンナーレ

過疎高齢化の進む日本有数の豪雪地・越後妻有を舞台に、2000年から3年に1度開催している人間の土地と美術の芸術祭

静岡県
SHIZUOKA FESTIVALS

春に実施する演劇祭と秋に実施する大道芸フェスティバルをコアに、複数のフェスティバルを統括し、食や観光プログラムと一体にしたSHIZUOKA FESTIVALSを展開



ストレンジシード2016

地方施策の強化に向けた取組④ ～スポーツによる地域活性化～

○ スポーツ大会やキャンプの誘致等を行う地域スポーツコミッションの拡大を進め、スポーツを通じた観光振興・地域活性化に取り組む。

(第2期スポーツ基本計画に掲げる政策目標)

・ <u>地域スポーツコミッションの拡大</u>	(2016年度)	(2021年度)
地域スポーツコミッションの設置数	56団体	→ 170団体
・ <u>スポーツツーリズムの推進</u>	(2015年度)	(2021年度)
スポーツツーリズム関連消費額	2,204億円	→ 3,800億円

平成27年度から「地域スポーツコミッション」の活動を支援。



※「地域スポーツコミッション」とは、地方自治体、スポーツ団体、企業(スポーツ産業、観光産業)等が一体となって、スポーツを観光資源とするツーリズム等に取り組む組織。

各地の好事例

アイスホッケーによる国際交流・合宿誘致



釧路市：東北北海道スポーツコミッション

世界遺産姫路城マラソン



姫路市：ひめじスポーツコミッション

サイクリストの聖地 瀬戸内しまなみ海道



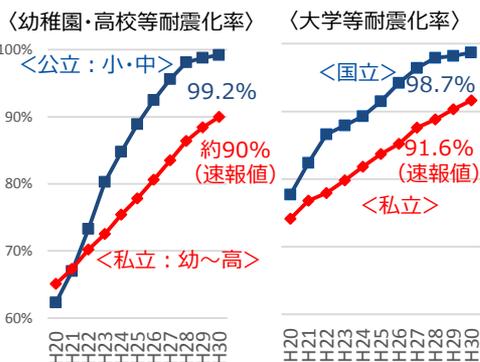
広島県尾道市～愛媛県今治市
しまなみ海道自転車振興協議会

地方施策の強化に向けた取組⑤ ～学校施設の防災・減災対策の推進～

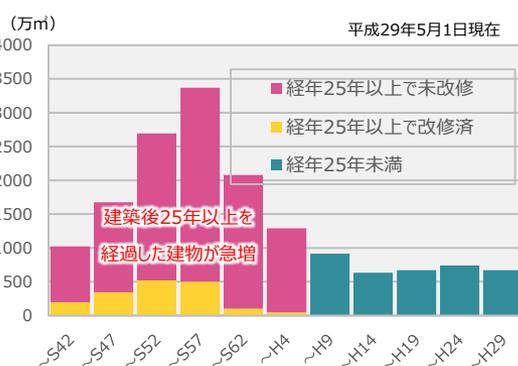
- 学校施設は我が国の将来を担う児童生徒の学習・生活の場であり、地域コミュニティの拠点となる極めて重要な施設である。
- 子供たちの安全・安心を確保するため、災害時には地域住民の避難所としても使用される学校施設について、耐震化・老朽化対策をはじめとした防災・減災対策を推進する。

現状

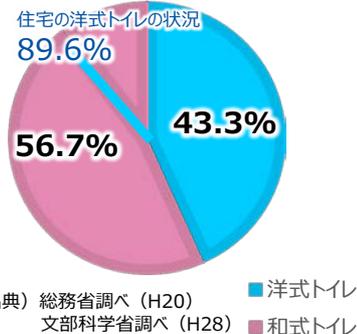
国公立学校施設の耐震化の進捗状況



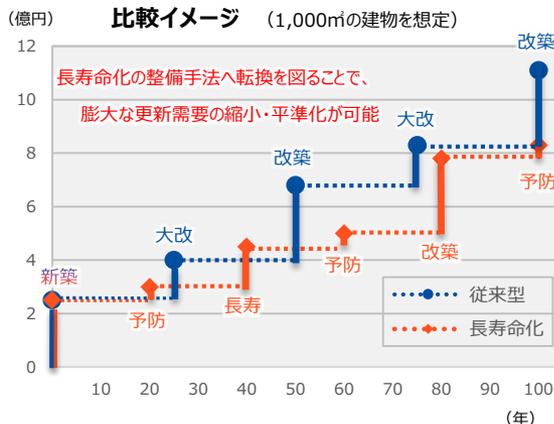
公立小中学校の経年別保有面積<全国>



公立小中学校施設のトイレの状況



長寿命化の整備サイクルと従来型の比較イメージ (1,000mの建物を想定)



◆教育現場における安全対策の推進

- 非構造部材も含めた学校施設耐震化・老朽化対策の推進
- 災害時の避難所としての役割も果たす学校施設の防災機能の強化（トイレ改修等）
- 近年の厳しい気象条件に対応した教育環境を確保するための空調設置
- ブロック塀の倒壊防止等の安全対策を支援
- 給食施設整備等を推進



◆計画的・効率的な長寿命化の推進

- 長期間の使用（80年以上）を前提とし、将来の財政負担の縮減と老朽化による危険性のリスクを軽減するため、致命的な損傷が発現する前に実施する計画的・戦略的な改修を推進

